

試験法 1 2 3

ローラ加速度応答法による剛性測定試験

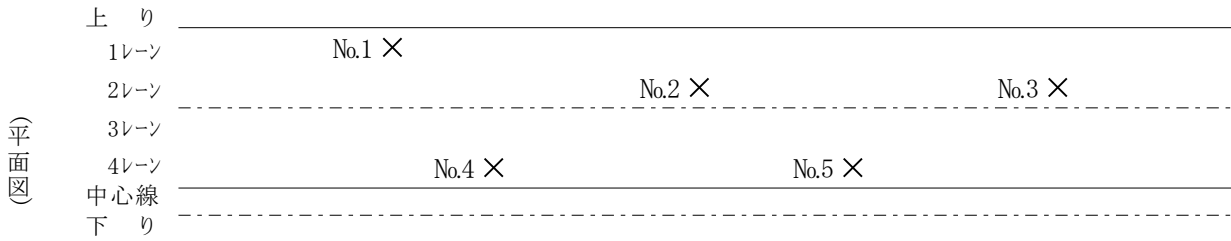
調査件名 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト  
長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

試験年月日 2019年11月18日

地点番号 No.752 (T.P.+7.50m)

試験者 田中 誠二

検査箇所	STA.124+00~STA.125+00(上り線)		
施工後	30日	天候	晴れ
試験面状態	乾燥・普通・湿潤	気温	14℃
路床材料	砂まじり礫(G-S)	修正CBR	50
最適含水比(%)	3.5%	最大乾燥密度	2.150 g/cm <sup>3</sup>
施工時含水比(%)	3.2%	施工時の密度	2.412 g/cm <sup>3</sup> (平均値)
計測システム名	〇〇システム		
検査機種	SV160D	起振力	350kN
		起振	High
		速度(3km/hr)	

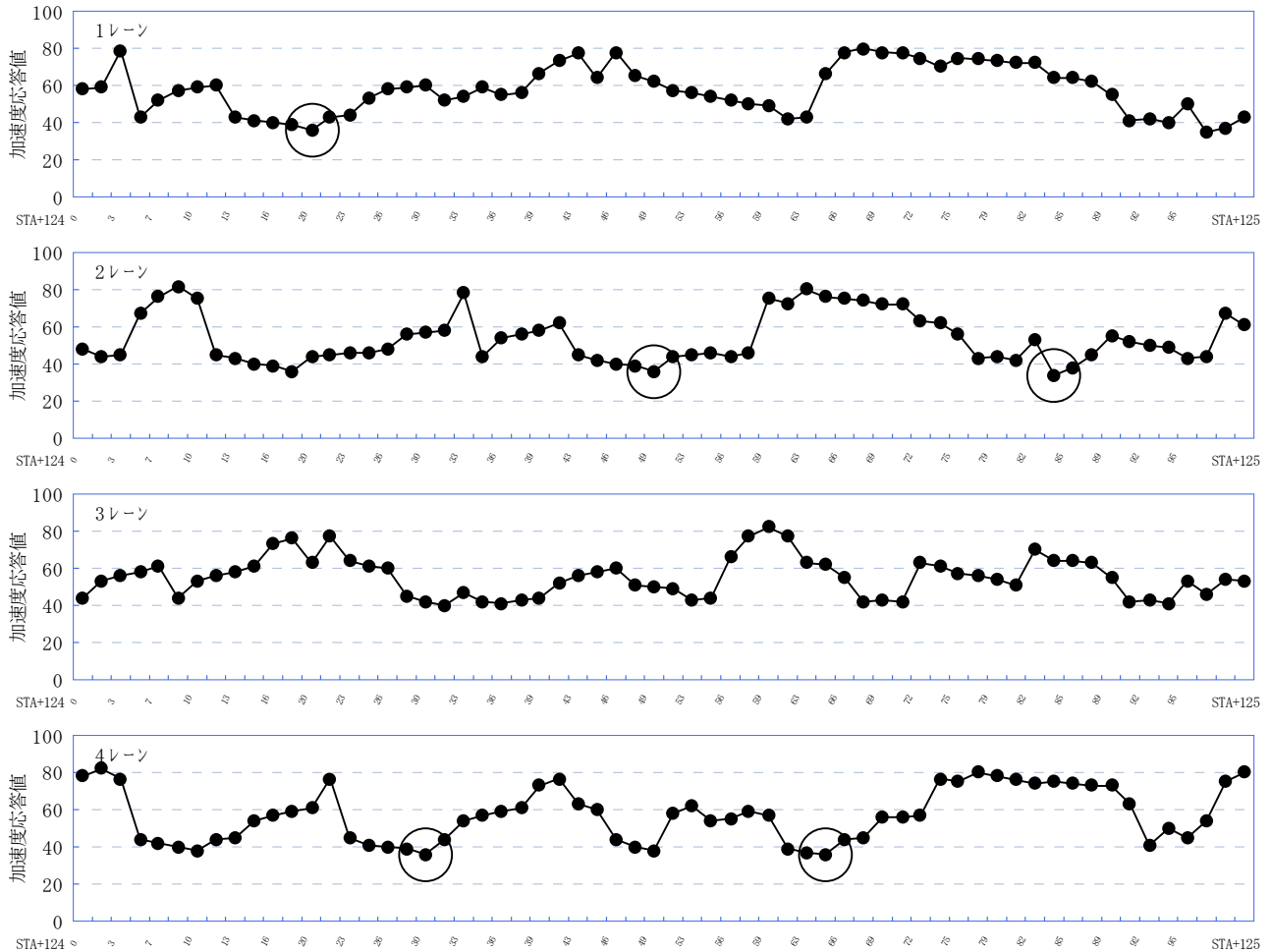


※たわみ測定箇所の測定No.を記入する

STA No 124

125

加速度応答値測定結果



特記事項 ローラ加速度応答法とは、振動ローラの振動軸に設置した加速度計により、路床転圧時の路盤からの加速度応答値を計算し、周波数分析することにより、路床の剛性評価を行う計算方法である。